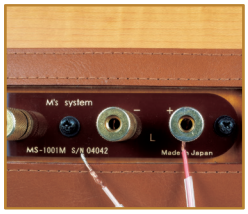
M's system
Vibrational Speaker
エムズシステム

『MS1001-Pro』『RS0802-Pro』 取扱説明書

■ 接続例

スピーカー側

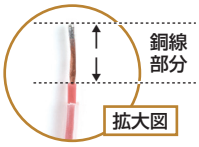
スピーカー端子のネジを左に回し、端子の穴が見えるまでゆるめてください。L（左）側・R（右）側それぞれ、赤色のケーブルは赤色の端子（+側）、無色ケーブルは黒色の端子（−側）にそれぞれ接続します。

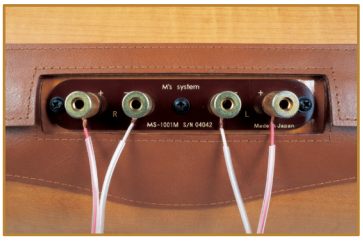


端子の穴にケーブル先端の銅線部分のみを差し込み、ネジを右に回して締め付けてください。

Point

※ ケーブルのビニール被膜がはさまらないように、銅線部分のみ差し込んで締め付けてください。

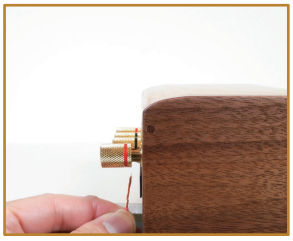




スピーカーケーブルはメーカーにより色が様々です。一般的にスピーカーケーブルの（+）と（−）で色が異なっていますので、スピーカー側・アンプ側ともにそれぞれの端子に正しく接続されているかご確認ください。

アンプ『W-Amp12』側

スピーカー端子のネジを左に回し、端子の穴が見えるまでゆるめてください。



スピーカーのL(左)側に差し込んだケーブルを、アンプのL(左)側端子の穴に赤と赤、黒と黒をそれぞれ対応させてケーブル先端の銅線部分のみを差し込んで、ネジを右に回してしっかり締め付けてください。R側も同様に接続してください。

L(左)側・R(右)側それぞれ、赤色のケーブルは赤色の端子（+側）、無色ケーブル（無色）は黒色の端子（−側）に対応して正しく接続されているか確認して下さい。

Point ※ 接続後、スピーカー側・アンプ側ともにケーブルが抜けないか軽く引っ張って確認をしてください。

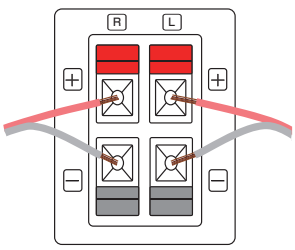
・スピーカー『MS1001-Pro』、『RS0802-Pro』、アンプ『W-Amp12』は市販のバナナプラグがついたスピーカーケーブルにも対応しています。
・スピーカーを天井に吊り下げる際は耐荷重量安全性を考慮して設置してください。

一般的なアンプ／コンポへの接続

外部スピーカーの取り外しが可能な、家庭用のアンプ / コンポへスピーカーを接続してお楽しみいただけます。アンプのメーカーや機種によって、接続端子の形状が異なることがございます。接続するアンプ / コンポの取扱説明書をご参照ください。
ご不明な点がある場合や、ご相談などはサポートセンター（☎03-5542-7432）までへお問い合わせください。

スピーカーと一般的なアンプの接続方法の動画です。

お手持ちのスマートフォンから QR コードを読み込んでご覧ください。



ワンタッチプッシュ式
スピーカー端子の接続例

M's system
有限会社 エムズシステム
〒104-0041 東京都中央区新富2-1-4
https://www.mssystem.co.jp
電　話：03-5542-7432
（定休日水曜を除く10:00～18:00）
ファックス：03-5542-7431
メ ー ル：support@mssystem.co.jp

取扱い方法、製品についての修理・サービスのご相談をお受けしております。

ヒューズの交換について

『MS1001-Pro』、『RS0802-Pro』は、予期しない過大な電流（過入力）からスピーカーユニットを安全に守る為に ガラス管ヒューズを内蔵しています。過入力が発生した場合、ヒューズが切れることでスピーカーユニットを保護できるような 安全対策をとっています。ご使用の中で、何らかの過入力が発生しヒューズが切れると、右側や左側、または両側の スピーカーから音声が出力されなくなります。その場合は、下記の手順でヒューズの交換を行ってください。

①

左周りに回して、ヒューズ管 BOX を取り外して下さい。

②

ヒューズ管 BOX を取り外した状態

③

ヒューズ管 BOX に、新しいヒューズ管 を差し込み交換します。ヒューズ管ボックスが止まる位置ま で、しっかりと右周りに回して下さ い。

ガラス管ヒューズの交換後は、音を流して音声が正常に出力される状態である事をご確認くださいませ。

安全上の注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人の死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

浴室・シャワー室など水に濡れる場所では使用しない

火災・感電の原因となります。

内部に水などの液体や異物をいれない

機器内部に水などの液体や金属類、 燃えやすいものなどを差し込んだりしないでください。 火災・感電の原因となります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

雷が鳴りだしたら

機器や電源プラグには触れないでください。

水をかけたり濡らしたりしないでください

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

ねじを外したり、分解や改造したりしない

火災・感電・故障の原因となります。 内部の点検・調査・修理はサポートセンターにご依頼ください。

機器の近くに花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない。

こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

機器の接続は説明書をよく読んでから

テレビ・ビデオ・オーディオ機器などを接続する場合は、電源を切り各機器の取扱説明書に従って接続してください。 また、接続には指定のケーブルを使用してください。指定以外のケーブルを使用したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

特定信号を連続して再生しない

テープレコーダーの早送り信号や正弦波などの特定した信号を連続して再生しないでください。故障の原因となることがあります。

この機器の上に乗ったりしない

特にお子様のいる家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、の原因となることがあります。

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たるような場所
- 湿気や埃の多い場所
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど高温になる場所

ベンジン・シンナーなどの揮発性薬品で拭かない

火災・変色の原因となる事があります。
機器についた汚れや埃は乾いた布で拭き取ってください。

自動車の中に放置しない

内部に熱がこもり、 火災・感電・故障の原因となることがあります。